

世帯と人口

(10月1日現在)

世帯	43,900	(- 1)
人口	118,971人	(- 16)
男	60,779人	(- 12)
女	58,192人	(- 4)

この数値は平成12年国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。

▼昭和57年当時の海老名駅周辺



▶整備が進む中央地区

えびな模様…中央から

# 未来の顔づくり着々と

今日11月1日は、海老名が町から市になった市制記念日。今年はその節目の30周年を迎えます。昭和46年当時5万人だった人口も、今では約12万人と2倍以上になりました。そして30年間で、大きく変化したのが海老名駅周辺の中央地区。現在、自由通路整備や商業施設建設が行われ、未来の海老名の顔づくりが着々と進んでいます。

## 30年でめざましい変ぼう

昭和46年の市制施行当時の海老名駅周辺は、一面に田園が広がるのどかなものでした。当時、並木橋寄りにあった小田急線・相鉄線の海老名駅は、48年12月に現在の位置(中央地区に隣接する上郷地区)に移転し、63年にはJR相模線海老名駅が開設され、鉄道の利便性は更に向上しました。

市制施行以降、市は都心部へのアクセス性が高いということから、ベッドタウンとして人口増加が進みました。駅周辺の中央地区でもマンション建設が進み、景色は大きく変わりました。

市では、海老名駅周辺地区を市の中心核と位置づけ、「21世紀の海老名の顔の形成」を図るため、道路整備などの都市基盤整備と、商業の活性化を両輪とした中心市街地づくりに取り組んでいます。

現在、海老名駅から中央公園を結ぶ歩行者専用の、「東口駅広部自由通路」の整備(平成16年3月完成予定)や、中央公園周辺では、百貨店、複合映画館、レストラン街、1400台以上の駐車場を持つ大規模商業施設の建設(平成14年4月完成予定)などまちづくりを進めています。

市の玄関口として成長を続ける中央地区。未来へ向け、さらに大きく発展・飛躍しようとしています。(市制施行30周年特集は4・5面に掲載)

### 中央 アラカルト

◎人口(平成13年10月1日現在)  
3,883人(男2,009人・女1,874人)

◎世帯  
1,759世帯

◎面積  
0.47平方キロメートル  
〔市全面積 26.48平方キロメートル〕

◎地名の由来  
平成3年2月25日に住居表示により誕生した地名。市と地元自治会で検討し、「みどり」「えびな」などの候補の中から決定された。